

問診票記入のお願いと用語の説明

この問診票は、主治医が患者さんの日常生活を把握するために記入するものです。主治医が意見書の作成時に参考にしますので、ご本人や家族など、日常の状態がわかる方がご記入ください。

問診票の中で使われている用語を説明します

問診票の中では、身体や精神状態について専門的な用語が使われています。特に、これらの用語が多い「認知症」の質問項目について、下記の説明を参考に記入を進めてください。

♪♪♪♪ 認知症について ♪♪♪♪

認知症とは、「いったん正常に発育した知的機能が持続的に低下し、日常生活に支障を来すようになった状態」・・・要するに、物忘れがあり、さらに言葉のやりとりが困難、場所の見当がつかない、手順をふむ作業ができない、判断ミスなどの「障害」が加わって、生活に支障を来した状態であるといえます。

代表的な症状は次のとおりです ・ ・ 質問 4 の記入時に参考にしてください

- ・ 新しいことを覚えられない、以前のことを思い出せない..... (記憶障害)
- ・ 段取りや計画が立てられない..... (実行機能障害)
- ・ 服の着方や道具の使い方がわからない..... (失行)
- ・ 物の名前がでてこない..... (喚語困難、失語)
- ・ 品物を見ても何だかわからない..... (失認)

♪♪♪♪ 用語の解説 ♪♪♪♪

問診票の中では次の用語が使われています ・ ・ 質問 4 や 5 の記入時に参考にしてください

- ◆ 幻視・幻聴 = 実際にないものが見えたり聞こえたりすると言う
- ◆ 妄想 = 財布や着物を盗まれたと言ったり、実際になかった話をする
- ◆ 昼夜逆転 = 昼間寝ていて、夜動きまわったり活動する
- ◆ 暴言・暴行 = ささいなことで声を荒げたり、手を上げたりする
- ◆ 介護に抵抗 = 理由がないのに、入浴や着替えを嫌がる
- ◆ 徘徊 = 目的なく歩きまわる
- ◆ 火の不始末 = タバコの火の不始末やガスコンロの消し忘れ、鍋焦がしなど
- ◆ 不潔行為 = 便を触ったりまき散らしたりする
- ◆ 異食行動 = 食べ物以外の物も口に入れる
- ◆ 性的問題行動 = 周囲が迷惑している行為と判断される性的な問題行動
- ◆ 失語 = 話す、聞く、読むなどの言語機能の障害
- ◆ 構音障害 = 呂律が回らない状態
- ◆ 失見当識 = 現在の年月や時刻、自分がどこにいるのかなど基本的な状況を把握することができなくなる状態